

SNW セッション「原子力の復興は何故遅れているのか？ 対話を進めよう！」

(2) SNW と原子力、東北で対話！

(2) Communication by Discussion in Tohoku Area!

Between Senior Network and Students, Especially in Nuclear Energy

*矢野 歳和¹¹SNW(シニアネットワーク)東北, SNW(AESJ)

1. 緒言 原子力は我が国のエネルギーセキュリティと温暖化ガス削減実現に必要な不可欠なエネルギー源である。2016 春の大会の仙台開催を機会に、東北地区で実施したシニアと学生や一般の方々との対話の活動を「原子力の復興は何故遅れているのか？対話を進めよう！」のタイトルでシニアネットワーク (Senior Network: SNW) の活動を紹介し、原子力が抱える問題点と現状を議論する。

2. 原子力の現状と課題 東日本大震災後 5 年が経過するが原子炉の再稼働は一部に過ぎず、新潟を含む東北地区は原子力発電所が停止したままである。また現状は原子力比率を抑えるエネルギー政策を進めつつあり、エネルギーセキュリティと温暖化ガス削減に明確な回答を出さず先送りの風潮が顕著である。

3. SNW の活動 日本原子力学会 SNW 連絡会¹⁾は 2006 年 5 月に設立され、原子力の将来に関して世代を越えた対話と啓発および支援を推進してきた。また最近では NHK スペシャルの誤報に対し事実に基づく反証を行い、偏った報道姿勢に抗議して訂正を要求し、リベラルな報道を求めている。

4. SNW 東北の活動 SNW 東北²⁾は原子力学会の SNW の理念に呼応して 2008 年 12 月に東北で設立され、SNW の東北地区での活動を支えるとともに独自に地区の大学や一般の方を対象に活動を行っている。

5. 問題点の抽出 日本のエネルギーセキュリティ、温室効果ガス削減、国と地域経済の活性化にとって原子力は重要なエネルギー源である。図 1 と 2 に示すように、活動で得た実感はエネルギーが国民の生活と安全に直結し、エネルギー戦略は総合的に考える必要があること、問題点は原発と低放射線量の強引な結合により放射線への恐怖心を煽り原子力反対の気分が作られたこと、マスコミ情報は全て正しいという無批判で一方的な情報受信などがある。

6. 結言 原子力は新しい時代のエネルギーの基本であり、現状は膨大な設備資産が眠った状態で国民の富の重大な損失がある。エネルギーセキュリティ、温室効果ガス削減および国と地域経済の活性化のため、安全な原子力推進と核燃サイクルの確立の基本政策は揺らぐことなく次世代に引継ぐ必要がある。今後は東日本大震災と原子炉事故を乗り越え、新しい世代が自信を持ち原子力利用を進めて頂きたい。

参考 ¹⁾ <http://www.aesj.or.jp/~snw/> ²⁾ <http://www.snowtohoku.jp/> ³⁾ <http://www.nirs.go.jp/information/qa/qa.php>

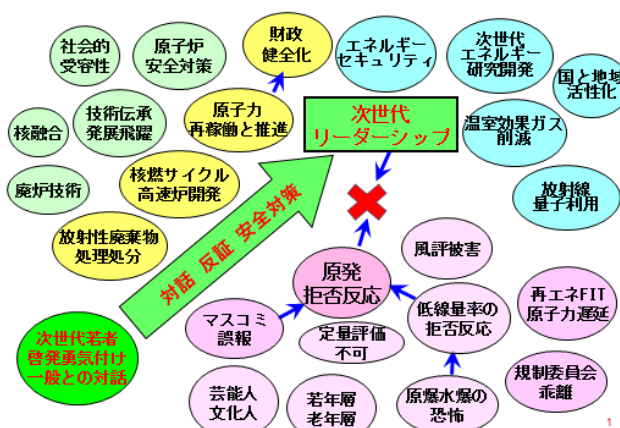
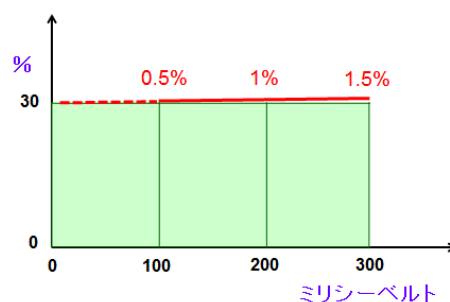
*Toshikazu Yano¹¹Senior Network(SNW) Tohoku, SNW of AESJ

図1 原子力を取り巻く状況

図2 放射線によるがんの増加³⁾